

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 平成29年6月8日から平成29年8月31日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 50301 B15021	

2 福祉サービス事業者情報（平成29年7月現在）

事業所名： （施設名）デイサービスあおば	種別： 通所介護	
代表者氏名：理事長 小林 伸陽 （管理者氏名）所長 高橋 真一	定員（利用人数）： 30名	
設置主体：上伊那医療生活協同組合 経営主体：上伊那医療生活協同組合	開設（指定）年月日： 平成20年 3月 1日	
所在地：〒396-0014 長野県伊那市狐島 3895		
電話番号：0265-77-2225	FAX番号：0265-95-1063	
ホームページアドレス：		
職員数	常勤職員： 5名 非常勤職員 8名	
専門職員	介護福祉士 6名 理学療法士 2名	看護師・准看護師 2名 作業療法士 1名
施設・設備 の概要	（居室数）3 （設備等）リハビリ備品（メドマー・リカン ベントバイク・フルバイク・レッグプレス・ マルチホームトレーナー他）	

3 理念・基本方針

上伊那医療生活協同組合の基本方針

いのちの平等を守り、安全で満足度（質）の高い医療、介護、健康づくりのサービス提供に努め、継続的な改善をしていきます。

健康増進を患者さま・地域・病院職員ですすめていくHPHとして、「民医連綱領」「医療生協のいのちの章典」「医療生協の介護」「私たちの行動宣言」の精神に基づいたサービス提供に努めます。

地域の保健、医療、介護、福祉のネットワークづくりに貢献し、誰もが安心して住み続けられる街づくりに貢献し、誰もが安心して住み続けられる街づくりをすすめます。

民医連人、医療生協人として職員育成と働きつづけられる職場環境づくりをすすめます。

憲法を守り、暮らしに生かす取り組みをすすめます。

医療生協の介護

誰もが自分らしい生き方を
いのちと人権を尊重する介護
安全・安心の質の高い介護
介護を受ける権利を守り発展させる運動

生協総合ケアセンターいな理念

「自分らしく 心地よく」

私たちは あなたの生きてきた歴史を大切にします

・私たちは 本人と家族の想いを「かたち」にしていく
医療と介護・福祉を実践します

・私たちは 住み慣れた地域で 今をささえあい
これからを共に生きます

デイサービスあおば

人と人がつながりや関わりを大切にします

利用者が一人ひとり自分らしく輝ける生活と時間を実現します

家族のみなさまにも安心してご利用いただくことができます

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

上伊那生協病院を中心にして上伊那地区に5つの拠点を設置して総合的な医療介護サービスを担っている。5つの拠点はブロックと称しそれぞれにデイケア、デイサービス、訪問看護、訪問リハビリ、ヘルパーステーション、小規模多機能、ケアプランセンターなどを配置して地域福祉、医療で上伊那地域の中心的存在になっている。

「民医連綱領」を基本とし「世界の健康実現の目標」を掲げるHPH（健康増進活動拠点病院）ネットワークに加盟し、ISO9001によるマネジメントシステムにより質の高い医療、介護、健康づくりのサービス提供につとめ、継続的改善を行っている。

2016年度末実績で組合員約23,622人、事業収入約40億8千万円、組合員組織を中心に地域活動を展開し、「物語られるいのち」を活動価値の源に置き、いのちと平和を守る運動にも積極的に取り組んでいる。又今年度は第5次長期計画に基づき、それぞれの計画が立てられ、単年度ごとの到達目標の設定の下に事業展開が進んでいる。

「デイサービスあおば」は、「生協総合ケアセンターいな」（伊那市狐島3895）の中核的福祉サービスを担っており、他に「小規模多機能あおば」、「生活リハビリサポートいな（障がい福祉サービス）」、「訪問看護ステーションみどり・いな支所」、「訪問リハビリ」、「生活ケアプランセンターあおば」、「生活相談センターあおば」、「グループホームあおば（認知症対応型共同生活介護）」が併設されており、医療と介護・福祉の連携をトータルサポートしている。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	1回（今回は初めての受審）
---------------	---------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

理念に沿ったサービスの提供

上伊那医療生活協同組合の基本方針に従い、医療、介護、健康づくりを一体となった事業運営を行っており「デイサービスあおば」は、HPH（健康増進活動拠点病院）と連携し、「生協総合センターいな」の中核的な地域福祉を担っている。「生協総合センターいな」、「デイサービスあおば」の理念に沿った介護サービスを提供している。

様々な専門家による在宅での生活支援

必要に応じ、看護師、理学療法士、作業療法士等の専門家が自宅に出向き、利用者や家族の想いを聞き取り、自宅での安全な入浴方法や排泄、褥瘡予防等を指導し、様々な面で在宅での生活を支えている。

働きやすい環境の整備

職員の年間の有給取得は10日前後、残業は極めて少なく職員の働きやすい労働時間となっている。悩み相談は、保健室に専門のカウンセラーが配置されており、定期的相談に応じている。職員インタビューでも、職員間のコミュニケーションがよく取れており、やりがいのある職場と感じる職員が多い。また、職場の定着率も高い。

リハビリ等質の高いサービスの提供

アセスメントではリハビリの専門職の職員が同行し、生活行為の聞き取りノート、趣味・関心事チェックシート、リハビリテーション報告書等で多面的に利用者の把握に努め、サービス実施計画書に生かしている。お風呂も機械浴、利用者の状態に合わせてスライドする浴槽など設備も充実している。リハビリ機器も十分に用意され、理学療法士、作業療法士が常駐しており専門的サービスを受けている。また言語聴覚士等の専門家の相談も利用者が自由に利用できる。ISO9001（品質マネジメントシステム）に基づく利用者満足の向上を目指すマネジメントシステムが定着しており、毎年実施されている利用者満足度も高く良い事例として評価できる。

特に改善する必要があると思う点

口腔ケアの充実

口腔ケアについては、利用者の状況に応じ実施している。更に歯科医師、歯科衛生士の助言指導を受けて、口腔状態および咀嚼嚥下機能の定期的チェックを行い、誤嚥、嚥下性肺炎の予防にとりくまれることを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

長野県福祉サービス第三者評価事業評価結果取扱要領第2条第1項の規定により、有効回答者数が10人未満のため、非公開とします。

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（平成 29年 8月 21日記載）

- ・利用者様への接遇、サービス内容など日々の業務の振り返りの機会にもなり、事業所の良い点や改善すべき点が把握できた。今回得たものをもとに、質の向上に努めていきたい。
- ・運営上必要な記録物や、マニュアルの徹底など基本に立ち返ることができた。新しい制度ややり方など、職員への周知徹底をしっかりと行っていきたい。
- ・サービス提供終了時の本人や家族への説明、文書も併せて渡していきたい。
- ・利用者へのアンケート、職員への聞き取りから、客観的な評価がもらえ参考になった。アンケートをもとに改善できるところは改善していきたいと思う。
- ・事業所の特色（小学生との交流、介護ウェブなど）を今後も活かした取り組みをしていきたい。

今回はご指導いただきありがとうございました。今回御指摘いただいた点、また事業所の強みを活かし、さらに良いサービスが展開できるように努めていきたいと思っております。ありがとうございました。